

# 令和3（2021）年8月市長定例記者会見の概要と質疑応答

令和3（2021）年8月4日（水曜日）  
午前11時～11時59分  
柏崎市役所多目的室

## 1 発表事項

### （1）64歳以下の新型コロナワクチン接種が始まりました

（主管：健康推進課）

柏崎市のみならず、全国の自治体と国民の皆さんがあつまつ心を持っている事項だと思います。私たちも一刻も早く希望する方々にワクチン接種をさせていただくために、国や県といろいろな折衝や話し合いをしています。ワクチン供給のめどはまだついていませんが、できる限り早い接種を進めているところです。

国から、7月31日までに65歳以上で接種を希望する方々の接種を終わらせるようにという指示がありました。65歳以上の対象者28,897人のうち、1回接種を終えた方が25,972人で接種率は89.9パーセント、2回目接種を終えた方が25,498人で接種率は88.2パーセントです。おおむね90パーセントに達するということで、接種を希望しない、もしくはできない方も10パーセントいるかもしれません、65歳以上で希望する方々の接種は7月31日までに終了したと判断するところです。

64歳以下の方々に関して、60歳から64歳の方々の接種は7月17日から開始しています。48歳から59歳の方々の接種は、8月8日から開始します。さらに、高校3年生の18歳と中学3年生の15歳の接種機会を設けました。県の大規模接種会場、朱鷺メッセの接種枠の配分が柏崎市にもありましたので、市民の皆さんにも接種していただけるようご案内しているところです。また、ワクチンの供給が見込めない、もしくは減少していることから、医院、診療所、個別のクリニックでの個別接種の実施は8月2日から6日までとしていましたが、8月10日以降も継続して、接種対象年齢を60歳以上から48歳以上に拡大して接種機会を増やすこととしました。

職域接種に関しては2種類あります。国が行う、いわゆる正式な職域接種は、新潟工科大学、新潟産業大学の学生、教職員など約千人の1回目接種が7月28日に終了しました。東京電力は、本社と柏崎刈羽原子力発電所に勤務する社員と協力企業社員約4千人、うち柏崎市民の方は2,500人ですが、8月中旬から接種開始の見込みです。

柏崎版の職域接種は、8月第1週までに市立小・中学校に勤務する教職員を含む14企業、団体、3,887人の方への1回目接種が終了しました。

次に、今後のスケジュールです。48歳から59歳の方々、対象約1万2千人は8月8日から8月29日までを1回目の接種期間とする予定です。18歳の方々、対象約700人は7月24日から接種を始め、8月7日までに希望する方の1回目接種を終える予定です。15歳の方々、対象約650人は8月3日から8月20日までに1回目接種を終える予定です。そうすると、48歳から59歳、18歳、15歳で希望する方々の2回目接種は9月第3週ぐらいまでに終わらせることができると考えています。

課題はこれ以外の方の接種です。16歳、17歳、19歳から47歳の対象となる方が約22,400人、12歳から14歳の方が約1,900人います。この方々の接種スケジュールは、ワクチン供給の見込みがまだ示されないことから検討中です。ワクチン供給のめどがつき次第、迅速にご連絡させていただき、接種対応させていただきたいと考えています。

新潟県の大規模接種会場は朱鷺メッセで、ワクチンはモデルナ社製です。対象者は19歳以上の市民で、1回目、2回目共に朱鷺メッセの会場に行って接種ができる方です。予約方法は電話のみで、接種の際には接種券、記入済みの予診票、本人確認書類などが必要です。日程は、8月14日、15日、22日で、合計70人を予定しています。8月14日、15日の予約は8月6日まで、8月22日の予約は8月7日から8月13日までです。

国からは、12歳以上の方々にワクチン接種をするよう言われています。住民基本台帳を基準に集計したところ、12歳以上の方々の1回目接種は52パーセントを超え、2回目接種も40パーセントを超えていました。この数字はVRSの集計結果に基づく速報値ですので、概数だとご承知おきいただきたいと思います。

## (2) 柏崎フロンティアパークの全区画が分譲・賃貸済みに！—株式会社ウッドプラスチックテクノロジーとジェットエイト株式会社が進出

(主管：ものづくり振興課)

株式会社ウッドプラスチックテクノロジーとジェットエイト株式会社の進出が正式に決定したことにより、フロンティアパーク全31区画が分譲・賃貸済みとなりました。どちらの会社も令和4（2022）年度の操業を予定しています。

柏崎フロンティアパークは平成20（2008）年から分譲・賃貸を開始しました。株式会社東芝から区画を多数契約いただいたのが最初で、平成22（2010）年です。最初の契約から11

年余りで全 31 区画が分譲・賃貸済みとなりました。雇用もかなり伸びてきたということで喜んでいます。

今回ご契約いただいた 2 社に、フロンティアパークに決めた理由を伺ったところ、関東圏へのアクセスの良さや電気料金の補助金などが魅力となっているというお話をいただいています。また、ジェットエイト株式会社は、教育や公共施設、自然などの環境面で質、量が十分に整っていて、働く社員の心の豊かさ、人間的な豊かさを高めることができるという非常に高い評価をいただきました。

### (3) JA 柏崎ブランド枝豆の名称が決定！一枝豆の 1 億円産地を目指して

(主管：農政課)

新潟県から、お米だけでなく園芸にも力を入れていくという方向性が示されています。柏崎市も県の方針に習い、お米も大切ですが、園芸にも力を入れるということで、昨年から JA の枝豆の集荷、冷蔵施設なども整備させていただいている。今回、ブランド枝豆の名称が越後はちこく茶豆に決定しました。香り、旨味、甘みが揃った茶豆です。令和 2 年は生産者 26 名、栽培面積が 27.9 ヘクタール、総出荷量が 33.7 トン、販売額が 25,186 千円でした。ちなみに、平成 28 年、29 年の販売額は約 1 千万円でした。これを令和 6 年までに 1 億円の販売額を目指します。私も試食しましたが、非常に甘くておいしい枝豆です。新潟県はかなりの出荷量がありますが、県内での消費も多いので、首都圏、中京圏への出荷なども含めてさらなる販路の拡大と販売額の増加を目指します。

### (4) 「米山（五輪山）からの贈り物」－柏崎産米使用特產品を限定販売

(主管：農政課)

米山からの贈り物というかたちで、柏崎産米を使った特產品を限定販売させていただき、柏崎産米のおいしさや価値をより多くの方々にお届けしたいと思っています。柏崎市認証米コシヒカリの米山プリンセス、西山のコシヒカリビール、高柳の石塚酒造の姫の井のお酒、柏崎米菓こしいぶきの郷網代焼をセットにして、通常 5,500 円分を送料込みで、3 千円で販売させていただきます。お盆も含めて、多くの方々に戻って来ていただきたいと言いたいところですが、このような状況ですので、帰省は慎重にご判断いただきたいとお願いしているところです。通信販売ですので、その気持ちを県外の方々にお届けしていただいたり、県外の方々から柏崎の味を楽しんでいただいたらしくていただければと考えています。

## (5) 柏崎版「GO TO イート」キャンペーンでお得に飲食！

(主管：商業観光課)

今、飲食店の方々が非常に困っていらっしゃって、議会の方々からもご意見を多数いただいているので、方向性だけでも示させていただきます。柏崎版の GO TO イートを 10 月 1 日から令和 4 (2022) 年 1 月 31 日まで予定しています。1 セット 5 千円で 7 千円分のチケットを販売します。1 世帯 2 セットまで購入可能で、広報かしわざき 9 月号と一緒に購入引換券を配布させていただきます。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の地域拡大や期間延長によって、お盆で帰省される方々を期待している飲食店にキャンセルの連絡が多くきているということで、一刻も早く支援してもらいたいという声を議会も含めていただいている。さらなる飲食店への支援策を議会の方々に先決でお願いしたいということも最終的に詰めているところです。

## (6) 秋のダム湖を周遊—赤岩ダム水源探索・親子乗船ツアーを初開催

(主管：施設維持課)

大人もそうですが、コロナ禍で一番心を痛めているのは子どもではないかと思っています。これをするな、あれをするなと言われて気持ちがかなり抑えられている部分があるのではないかと思い、柏崎港の国際貿易港開港 50 周年で海上自衛隊から船を出していただいて小学 6 年生を乗せていただいている。今度は、赤岩ダム湖の奥までボートで行っていただき、柏崎が誇るおいしい水の源を親子で確認していただこうということで、赤岩ダム水源探索・親子乗船ツアーを初開催します。開催日は 9 月 25 日から 11 月 6 日の土曜日で、定員は 30 組、60 名です。対象は、小学 1 年生から 5 年生の児童 1 名とその保護者 1 名です。赤岩ダムの特徴は、集水域 9.18 平方キロメートルが市有地ということです。水質汚染などは全くない水源で、安全面に優れ、人の手の入らない自然豊かな場所です。市民の皆さんも柏崎の水源がどのようにになっているかご覧いただけないだろうと思いますので、この機会に映像でご覧いただきたいと思います。この赤岩ダム、谷根ダム、川内ダムが柏崎市の上水道専用の 3 つのダムです。柏崎市のこれまでの行政で、私はこの水道行政が一番優れていると考えています。3 つの上水道専門のダムを造ったのみならず、素晴らしいと思うのは、集水域を全て市が買収したことです。そして、開発行為を許さないということを定めて、今でも市民の皆さんに安心して飲んでいただけるおいしい水を供給しています。私は 2 回ほど柏崎水源の源までボートに乗せていただきましたが、この柏崎市のおいしい水の源を子どもたちにも見ても

らいたいということで、上下水道局に企画してもらいました。多くの方々にご覧いただきました  
いと思いますが、ボートも小さいので人数が限定されます。

ちなみに、7月26日現在の赤岩ダムの貯水率が96パーセント、谷根ダムが98パーセント、  
川内ダムが100パーセント、3つの上水道専用ダムの平均した合計貯水率は96パーセントで、  
十分な貯水量を確保しています。また、夏は下の方から水を取っていますので、平均して6  
度冷たい水を供給しています。

## (7) 番神自然水族館に2つの新コンテンツが誕生！

(主管：商業観光課)

番神自然水族館は7月4日から行われていますが、各回定員をオーバーするキャンセル待ちの状況で、大盛況です。新型コロナウイルス感染症にも配慮しながら、こども自然王国の方々から運営していただいている。夏休みに入りましたので、子どもたちにもさらに楽しんでいただこうということで、既存エリアの外側にネットで囲んだいけすを設置します。新潟漁業協同組合柏崎支所や海洋生物環境研究所の協力により魚を放流しています。先般、トラザメを試験的に入れたのですが、残念ながらこの暑さで即日死んでしまいました。子どもたちに生きたまま見てもらえるか心配ですが、多くの魚がいけすの中で泳ぐ姿を見てもらえばと思っています。また、シュノーケリング体験も新たに企画しました。

## 2 質疑応答

### ◎新型コロナワクチン接種に関する質問

**記者：65歳以上の方の約90パーセントが、2回目接種が終わったとのことだが、残り10パーセントは施設に入っているなどの事情があるのか。**

市長：お一人お一人がどういう事情なのかは承知していませんが、希望されない方もいらっしゃると伺っています。施設に入っているから受けないということではなく、施設に入っていても多くの方は希望されて接種しています。基本的には希望されない方が10パーセントほどいらっしゃるとご理解いただければと思います。

**記者：長岡市で大規模接種会場が設けられるということで、柏崎のサテライトのようなものも要請していきたいと話されていたと思うが、その後の経過はどうか。**

市長：長岡の接種会場のワクチンはモデルナです。モデルナは今のところ、移動させてはいけないと言われています。花角知事は、知事会でモデルナの移動について、トレーサビリティも含めてしっかりしているならば移動してもいいのではないかとお話しされたようで、私たちもその通りだと思っています。については、長岡のモデルナを柏崎で、長岡の接種会場のサテライトとして受けられないだろうかということを申し上げていますが、国の方針がまだ示されてないということで実現していないのが現状です。

### ◎柏崎フロンティアパークに関する質問

**記者：分譲開始から13年で全区画が埋まつたことの所感を伺いたい。**

市長：歴代の市長や、何と言ってもとりまとめの采配をしていただいた中小企業基盤整備機構の皆さんのお力添えが大きいと思いますので、感謝を申し上げます。また、関わってきた市職員もフロンティアパークの優位性を10余年伝え続けてきました。全国いろいろな自治体がいわゆる工業団地の分譲をやっていますが、10年余りでいっぱいになるということは、柏

崎フロンティアパークは優等生だろうと思っています。関わってきた皆さんに感謝を申し上げたいと思います。

**記者：フロンティアパークに進出した企業は全部で 10 社になると思うが、新しい 2 社を含めた市内の雇用はどれぐらいか伺いたい。**

産業振興部長：現在操業中の 7 社で約 400 名、その他派遣を含めると 300 名程度がいらっしゃるのではないかということです。今後拡張する企業、新規操業する企業がありますので、その辺りは実際に操業し始めないと何とも言えない状況です。

**記者：全区画が分譲・賃貸済みになったことで、次なる団地を考えていかなくてはならないと思うが、その計画や見通しを伺いたい。また、フロンティアパークのそれぞれの企業が分譲なのか賃貸なのかを伺いたい。**

市長：フロンティアパークは埋まりましたが、例えば田尻の工業団地でも富士ゼロックスの跡地の利活用は決まっていません。また、2022 年中に 8 号線バイパスが鯨波まで繋がります。従来鯨波公園としていたところを買い戻したので、その部分にかなり広い土地ができます。旧鯨波公園の土地が工業用地などに資するかどうかも含めて、もう一度市内の工業用地に資する土地を精査しながら、どのような優遇策を打ち立てればいいのかなども早々に検討に入らなければいけないと考えています。

産業振興部長：分譲・賃貸の質問に関しては、社名は公表できませんが、賃貸が 1 社で、その他は全て分譲です。

#### ◎柏崎版 GO TO イートキャンペーンに関する質問

**記者：キャンペーン期間を 10 月 1 日からとしているが、現在の新型コロナウイルスの状況は 10 月になればある程度治まるという見通しでこのような計画を立てているのか。**

市長：そのような期待値をもって発表させていただいているところです。柏崎市だけでなく、

全国的な課題だと思いますが、ワクチンが順調に供給されれば10月下旬には対象の希望者全員のワクチン接種が済む予定です。10月1日からGO TO イートを始めたとしても、一般的に、集団免疫が6割から7割で成立すると言われていますので、すでに2回の接種が終わっている市民が対象者の中で40パーセントを超えていたため、10月1日には集団免疫が成立しているだろうということも含めての計画です。

**記者：集団免疫ができるというのはワクチン供給が今後スムーズにいくという仮定に基づいた話だと思うが、その辺りはどのように考えているか。**

市長：確かに仮定に基づいた話といえば全くその通りです。事実関係として、12歳以上を基準とした場合のワクチン接種状況をみると、すでに2回接種を終えた方が40パーセントを超えていて、8月下旬にはかなり進むはずです。問題は9月以降の話になりますので、10月1日には希望者全員とはならないと思いますが、6、7割という数字は達成できるのではないかと期待しています。もちろん、開始の段階でワクチン供給が進まずに、6、7割まで接種が進まず、新型コロナウイルス陽性者が散発的に継続している状況ならば、県と同様にGOTOイートキャンペーンを停止、もしくは見送ることもあり得ると思っています。しかし、今の段階では、飲食店の方々の気持ちがもう持たないということも含めて、ワクチン接種が進み、陽性者の発生も落ち着いていたならば、10月1日から柏崎版GOTOイートを始めさせていただきたいと思っています。

## ◎東京電力に関する質問

**記者：東京電力柏崎刈羽原子力発電所の消火設備の配管工事で、酸化防止のための施工が適切に行われていないという申告があり、調査したところ6号機の30箇所で不良部分が確認されたということを、7月30日に東京電力橋田新潟本社代表が記者会見で発表した。この発表内容は東京電力から市長にどのようなかたちで報告や説明があったのか。**

市長：正確な日には今確認できませんが、事前に橋田代表が市役所にお越しになり、お話をあったと承知しています。

**記者：今回の件をどのように受け止めているか。**

市長：これは担当した会社に責任があるわけですが、そのような工事、作業を発注した東京電力にも責任はあるだろうと思っていますので、そのことは橋田代表にもお伝えしました。監督責任も含め、責任の所在をしつかり追求することも大事です。どうしてこのようなことが起こったのか、どうしてそのような作業に至ったのかということが一番大事で、それを確認するのが東京電力の仕事だと思っています。どうしてこのような事態に至ったのかを発注者としてしつかり確認し、それを速やかに発表してもらいたいと思います。

**記者：東京電力は、安全対策工事未完了の問題がまだ確認中で、原子力規制庁からの指摘による火災探知機や排気管伸縮継手などの調査も継続しているところに加えて今回の問題が出てきた。実際に施行した業者は東京電力ではないかもしれないが、東京電力が発注して管理する施設の中で相次いで課題が見つかっていることは、市民からの東京電力、原発に対する目を厳しくする要因になるのではないかと思うが、市長はどのように考えるか。**

市長：このような事柄が重なることで、市民の皆さん 東京電力や原子力発電所という存在に対する目は厳しいものになると思っています。ただし、その事案の重要性に関しては、技術的な部分なので、原子力規制庁、規制委員会が判断するところだろうと思っています。技術的な部分は原子力規制庁、規制委員会から科学的、合理的な判断を示していただき、私どもはその判断に基づいて対応させていただくしかないと思っています。非常に大きなプラン、システムですので、このような事案が出てきても仕方ないという見方があるかもしれません、それは決して許されません。福島の事故を体験している日本にとってみれば、より一層高い安全性を求めて原子力規制委員会、規制庁が設置され、要望するところは世界一厳しい規制基準だと言っています。それに対応した工事でなければいけないので、故意に工事のプロセスをスキップするようなことは決して許されることではないと思っています。重要性が高い、低いにかかわらず、細かい事項を1つ1つ規制基準に沿って工事しなければいけないと思いますし、それを監督するのが東京電力の仕事だと思っています。より一層気を引き締めて、工事、監督に当たってもらいたいと思います。繰り返しになりますが、なぜ今回のような事態が起きたのかをまず明らかにしてもらいたいと思います。